

ボランティア・市民活動情報誌

COMVO

コンボ 4 月号

2018
vol. 225

communication × voluntary



ボランティアと調理する子どもたち(ジャガピーおりょうりクラブ)

特集

子どもの生きる力を育む 「作ってあそんで世代を超えて！」 ～にしなりジャガピーパーク～

- 3 平成30年度 大阪市ボランティア活動振興基金 申請受付開始!!
- 5 OCVAC30周年記念 座談会

作ってあそんで世代を超えて！

子どもが主役のみんなの居場所 にしなり ジャガピーパーク

創立100年を超えるもと

大阪市立津守つち小学校・幼稚園

は、2015（平成27）年3月

末に閉校・閉園となり、長い歴

史に幕を下ろしました。しか

し、ここで育ち、この場所を愛

する地域の人たちの手によつ

て、新たに「プレーパーク（*1）」

として生まれ変わりました。

「公私協働の冒険遊び場 プレーパーク」

西成区は、小学校・幼稚園の跡地を利用した「にしなりジャガピーパーク」の3年間のトライアル期間を経て、今年4月から、子どもの生きる力を育む居場所である「プレーパーク」を本格実施することが決まっています。

同校の卒業生で閉校・閉園の決まった2012（平成24）年にPTA会長をしていた横田弘美さんは、「この歴史ある学校をどう守るか」を地域で模索してきました。もつと津守地域を知ってもらい、住む人を増やしたいと、毎年「津守こどもカーニバル」を実施。16（平成28）年から津守連合振興町会、特定非営利活動法人こどもの里、あそびパーク★プロジェクトの3団体共同で「にしなりジャガピーパーク」の運営を始めました。

にしなりジャガピーパークは、3つの機能があり、「冒険遊び場」で

は、水遊び、泥んこ、木工作、たき火で料理、「たまり場」では、ピアノやおえかき、「学び場」では、宿題を見たり、プログラミングを体験することが出来ます。また地域のおもちつきに参加し交流するなど地域と共存していることが特徴です（*2）。週1回の開催で約130人の子どもたちが区内外から集まり、スタッフ8人と10代から80代まで幅広い世代のボランティアが、子どもたちが主体的に過ごせるようにサポートしています。

「ジャガピーおりょうりクラブ」

給食室には「ジャガピーおりょうりクラブ」に登録する子どもたちが集まります。この日のメニューは、ロールキャベツ定食。子どもたちが、家でも作れるように1食あたり材料費100円から150円程度に抑えたメニューを考えています。

西浦直子さんは、管理栄養士の資格をもち、以前に保育園で



ジャガピーパーク事務局長 横田弘美さん

働いたことがあるという心強い存在です。地域の高齢者食事サービスで、横田さんから子どもたちの話を聞いたことがきっかけでボランティアとして関わり始めました。「火が通りやすくなるから、ななめに切るのよ」と一人一人に目配りし、必要に応じて声をかけます。

子どもたちは、集中力が続かなくなると、少し休んだり、冷たくなつた手をお湯で温めてもらったり、ボランティアを心の支えにしながらも自分で最後まで作り上げます。当初は食べ残しもありましたが、自分で味見して調整できるので、残量が減り、おかわりする子どもが増えました。



料理がどんどん上達する子どもたち

おなか一杯、まあいい気持ち

「ごはんは大事です。子どもたちはおなか一杯にしてくれる人が大好きです。料理しながら、あそびながら、ポツリポツリと自分の話をするようになってくれたのが大きな変化」と横田さん。初めは、大人を信じられず、暴言を吐くこともありましたが、でも、ここでは、自分を罵倒するような大人も、傷つける大人もいないとわかると安心して、のびのび遊べるようになってきました。

子どもの存在が大人を変える

以前、おりょうりクラブに参加していた子どもと近所のスーパーマーケットで会うと「よこちゃん、今日は何にしよう？」と話しかけてくれるそうです。「お米を洗うことを覚えたら、家で、ありがとう」と言ってもらえる機会ができるかもしれない。褒められたことがない子どもが、ありがとうが嬉しいと分かる人と人に優しくなれます」と言います。



薪で火をおこし、飯盒でご飯を炊く子どもとともとジュニアリーダーのけんちゃん

ジャガピーパークでは、中高生で構成する、天下茶屋ジュニアリーダーやシニア世代のボランティアが活躍しています。年の近いジュニアリーダーを姉妹のように慕い、力強く優しい存在は子どもたちの憧れです。大工や土木建築の仕事を経験してきた池田一安さんは、廃材を利用したアスレチックを作る名人です。スリル満点な遊具は大人気。「つくった以上に責任がある」と、安全点検

を欠かしません。病気で一年近く休んでいたボランティアは、「おっちゃん、待ってたよ」と子どもたちが喜んで寄ってきてくれたことに感動しました。子どもからプレゼントされた手作りペンケースを宝物にしています。この数年で信頼関係を築き、子どもと大人の関係性が変化してきました。ここでは、どの世代のボランティアも必要とされています。

※1子どもが「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに、既存の公園では禁止されているような火や水を自由に使うことや木のほりや穴掘り等、子どもがやりたい、遊びたいと思うことを可能な限り自由にできることをめざした遊び場。(西成区HP参考)

※2日本では、1970年代半ばごろから全国で草の根的に広がり、90年代後半から飛躍的に活動団体が増えています。地域住民による運営が広がっているのは、世界的に見て日本の冒険遊び場づくりの特徴といえます。(特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会HP参考)



子ども時代にもどったように笑顔を見せるボランティア

にしなりジャガピーパーク

〒557-0062

西成区津守3丁目1-66もと津守小学校・幼稚園内

TEL 06-7165-4030(10時~17時30分)

E-mail jyagapar@baycom.zaq.ne.jp

■アクセス

・南海汐見橋線 西天下茶屋駅より徒歩10分

・市バス29系統 なんば、芦原橋、

住之江公園駅から津守神社前 下車すぐ

HP <https://www.jyagapi-park.com/>



福祉ボランティア活動を支援する助成金情報

平成30年度 大阪市ボランティア活動振興基金

「地域のために何かやりたい」「地域の役に立ちたい」

◆助成事業一覧 そんな思いから福祉ボランティアに取り組もうとするみなさんを応援します

助成枠1 リーダー育成(1団体につき1か2のどちらか1事業に限ります)

No.	助成事業名・助成金額	事業内容	助成金額 (1件あたり/上限)
1	企業や商店、勤労者等が中心となって行う福祉ボランティア活動団体支援事業【事業助成】	企業や商店、勤労者等がリーダーとなり、<住民の参画を得て>住民の交流のきっかけとなる福祉活動支援	25万円以内
2	「居場所※」の運営ボランティア養成支援事業【事業助成】	地域の福祉課題の解決を目的とした「居場所※」の運営ボランティア養成支援	20万円以内

助成枠2 参加しやすいしくみづくり(1団体につき3・4・5のいずれか1事業に限ります)

No.	助成事業名・助成金額	事業内容	助成金額 (1件あたり/上限)
3	社会参加情報システムの構築支援事業【事業助成】	社会参加しづらい人等を対象とした、情報ネットワークシステムやアプリ等の構築支援	318万円以内
4	社会参加の空間整備支援事業【団体助成】	地域の福祉課題の解決を目的とした、誰もが利用しやすい「居場所※」づくりの改修整備支援	205万円以内
5	生徒・学生の(福祉)ボランティア活動支援事業【事業助成】	地域で(福祉)ボランティア活動を行う、生徒・学生で構成された「ボランティアクラブ」等が取り組む学校外活動や、生徒・学生が主体的に行う(福祉)ボランティア活動支援	30万円以内

助成枠3 ボランティア活動の拡大(1団体につき6~11のいずれか1事業に限ります)

No.	助成事業名・助成金額	事業内容	助成金額 (1件あたり/上限)
6	ボランティア活動促進事業【団体助成】	複数区で福祉ボランティア活動を行う団体の活動支援	5万円以内
7	災害時の活動者養成事業【事業助成】	防災を含めた災害に関するスキルを身につけるための養成研修等の開催支援	10万円以内
8	地域福祉・市民活動協働推進事業【事業助成】	地域の福祉課題の解決を共通の目的とし、複数の団体が主体になり、異なる強みや得意分野を活かし取り組む事業支援	50万円以内
9	地域福祉的な非営利法人支援事業 初動期支援【団体助成】	活動環境の整備や運用面で助言を求めるコンサル料など、運営基盤整備の支援(*法人格取得に向けた団体でも申請できます)	100万円以内
10	地域福祉的な非営利法人支援事業 コミュニティビジネス支援【事業助成】	地域の福祉課題の解決を目的とし、地域の資源や人材を活かしながら、ビジネスの手法により継続して取り組む事業	100万円以内
11	福祉課題に取り組む調査研究支援事業【事業助成】	地域の福祉課題の発掘や解決を目的に行う調査・研究事業支援	50万円以内

※「居場所」-高齢者・障がい者等のサロン、子ども食堂、フリースクールなど

◆事業実施期間

平成30年度(平成30年4月1日(日)から平成31年3月31日(日)まで)

◆対象団体・事業

*助成事業により対象団体が異なります

大阪市内に1年以上^{※1}活動実績がある非営利団体(任意団体、NPO法人、認定NPO法人、非営利の社団法人・財団法人^{※2}、学校法人、社会福祉法人など)

※1ただしNo.1とNo.9は除く ※2一般社団法人・一般財団法人は、法人税法上の非営利型法人の要件を満たすもの(非営利性が徹底された法人、共益的活動を目的とする法人)

◆申請期間・申請先

平成30年3月1日(木)から4月13日(金)17時まで(最終受付時間を越えた受付はいたしません)

大阪市ボランティア市民活動センターの窓口まで持参(郵送不可)★申請方法、申請書など詳細はホームページをご参照ください

【問合せ・申請用紙交付・申請窓口】

大阪市ボランティア市民活動センター 担当:西村、畑野(p14参考)

基金ホームページ <http://www.osakacity-vnet.or.jp/kikin/index.html>

大阪市ボラ基金

検索



『助成金活用しました!』

平成28年度、大阪市ボランティア活動振興基金を助成した2団体を紹介します。

結婚や出産などで一度は吹奏楽から離れたけれど、再び演奏したいという思いから、子どもがいてもできる音楽活動をしようと、Mam's Wind Orchestra「clover」の活動が始まりました。主に幼稚園・保育所で訪問演奏して

① ボランティア活動促進事業

お母さんが中心の吹奏楽団

Mam's Wind Orchestra「clover」(住吉区)

8人で始めた活動は、現在約50人になり、メンバーがストやSNSでコミュニケーションをとり、あまり練習に参加できない会員とも情報共有できるようにしています。練習中は

ですが、数年前から高齢者施設からの依頼が増えました。演奏を聴いて歓声を上げる子どもたちは対照的に、静かに涙する高齢者の姿に改めて音楽のすばらしさを感じる機会になりました。



子どもをおんぶして演奏するメンバーもいます

平成28年度助成金は練習場所の賃借料や、楽譜代に活用しました。大きな音が出るため、練習できる場所は限られていて、場所の確保は課題となっています。子育てしながらの活動のため、演奏依頼を受けてもメンバーが揃わないことや、時間帯が合わず訪問できないこともありますが、できる限り要望に応えたいと考えています。吹奏楽で赤ちゃんから大人まで楽しめる暖かい演奏を目指しています。

子ども同士あそぶ姿も見られ、メンバーにとっては音楽に限らず、子育てや仕事のことなどの話をする場にもなっています。

問合せ

E-mail mam-clover@msn.com
H P http://mamclover.blog92.fc2.com/

② ボランティア活動の拡大「地域福祉・市民活動推進協働事業」

若年性認知症・初期認知症の人のための居場所づくり

特定非営利活動法人認知症の人とみんなのサポートセンター(東成区)

映画などで取りあげられ、広く社会に知られるようになった若年性認知症。しかし、まだまだ病気について正しく理解されているとはいえず、制度やサービスの狭間、周りとのつながりを持てず苦しんでいる人や家族がいます。

特定非営利活動法人認知症の人とみんなのサポートセンター代表の沖田裕子さんが活動を始めた当初、老年期の認知症と比べて、若年性に対する制度やサービスはほとんどありませんでした。既存のサービスがない人たちの受け皿として定期的に通えるあらたな居場所が必要と考え、生きがいとして



生きがいとしての仕事の場「タック」

の仕事の場である「タック」、当事者同士の交流の場『ぱくすカフェ』といった活動を続け、今年では年間延べ400人以上が通っています。長年の支援の積み重ねと、相談機関と居場所が一緒にあることが同法人の強みです。

また、持続可能な事業の基盤づくりとして、地域住民や専門職と連携し、助成金を活用して様々な人たちが集まる仕組みをつくりました。障がい者の就労支援を実施する事業所と交流して作業体験、認知症への理解を深めるための研修会を実施し、地域のボランティアの育成を行いました。自分の住んでいる地域のそばに居場所が増えるよう、研修会や勉強会を通じた啓発活動を行うのにも

大きな役割と考えています。

問合せ

〒537-0024 東成区東小橋1-18-33 ぱくす倶楽部内
TEL/FAX 06-6972-6490
E-mail dementia.spc@kxe.biglobe.ne.jp
H P http://minnanospc.grupo.jp/

30周年記念座談会 上

あんなにこんな誰でもできるでボランティア

情報と連携で社会参加を

大阪市ボランティア・市民活動センターは1987(昭和62)年に大阪ボランティアセンターとして開設し、昨年30周年を迎えました。同センターのこれまでの歩みと今後のボランティア・市民活動の展望などについて、センターに関わりの深い5人が語り合いました。

(2回に分けて掲載します)

上野谷 みなさんこんにちは。大阪ボランティア・市民活動センターの開設30周年記念座談会ということで、センターにゆかりのあるみなさんにお集まりいただき

き、それぞれのボランティア活動や連携・協働について、また、今後のボランティア・市民活動の展望などについてお話ししていきたいと思えます。

ボランティア活動の「芽生え」

上野谷 それではまずは、みなさん自身のボランティア活動の「芽生え」について教えてください。

石田 中学1年生のときに学校でサツマイモを作ったんです。普段は交代で草を抜いたり水をやったりするのに、夏休みになったらみんな学校に来なくて。僕は陸上部に入っていたので、僕だけ

が夏休み中ずっと世話をしていたんですよ。秋になってこのイモどうしようかという話になり。私は自分たちで収穫したサツマイモを食いたいなと思っていました。

上野谷 その頃は日本中の人がお腹を空かせていましたからね。

石田 ところが同級生はみんな「もつとかわいそうな人がいるから」と言って近所の老人ホームに持っていきこうって言うんです。それが腹立ってね。僕らも腹減らしてるねんから、老人ホームではちゃんとご飯を提供されてんねんからと言ったんですけれど……でも結局、多数決で負けて老人ホームに持っていきま

した。その様子を地元の新聞社が写真を撮っていて、僕は行かなかったんですけれど、みんな「やった、やった」と言って先生も喜びました。それがまた腹立ってね。こんなこと絶対するもんかとずっと思ってたんですよ。善悪ってどこにあんねんやるということをすごく葛藤してたのを覚えています。

上野谷 実際にボランティア活動をやりはじめたのはいつ頃？

石田 大学に入って、青少年育成キャンプのボランティアをやりだしたのがスタートでした。その

ときも、普段、ええかげんなやつがキャンプ場に来たらみんなええ子になって一生懸命やるのが嫌だね。僕はこの集団と一緒にやっていたから帰らしてくれと言ったら、ええよと言われたんですけれど、キャンプ先は離れ島だったんですね。何か特別なええ子たちがボランティア活動をやるもんだというのは、すごく抵抗感があったのを覚えています。

上野谷 特別なええ子がするものがボランティアなのかという疑問があったわけですね。

地域活動に新参者

上野谷 それでは、佐和さんのボランティア活動のきっかけは何でしたか？

佐和 私はボランティアというよりも、社会事業団という仕事柄、



うえの や か よ こ
上野谷 加代子さん
大阪市ボランティア・市民活動センター所長/
同志社大学教授



いしだ やすのり
石田 易司さん
大阪市ボランティア・市民活動センター運営委員会委員長/
桃山学院大学教授

ずっとボランティア活動を支える立場でやらせていただいております。自分自身のボランティア活動では、住んでいる地域での町内会活動が中心で、これが数軒単位の班の中で班長の役が回ってくるわけなんです。何も知らずに20代で初めてそれをお引き受けしたんです。その頃から町内会の活動として、盆踊りや夜警、花見の会などの活動を続けています。

上野谷 何かご家族が地域の役員をしてたから、佐和さんにもお願いがあったんですか？

佐和 いいえ、今住んでる地域というのは家内の実家があったところで、ですから私は新参者なんです。全くの。「君は誰だ？」というところから始まって……。大阪駅からすぐ近くなのに高齢化がすごく進んでいて、どんどん住居が少なくなり、子どもの数が減少していったら、もう子ども会活動ができないんじゃないかというところまで来たんですが、ここ5年から10年で新しいマンションがたくさん建ち、また子どもの数が増えてきている状況です。

上野谷 子ども会がまたできてくるのですかね。

佐和 子ども会も復活して、ただ、町内会活動などに新たなマンションの住民が入ってくるという



さわ ひろし
佐和 宏士さん
大阪市ボランティア・市民活動センター運営委員会副委員長/
毎日新聞大阪社会事業団事務局長

うのは難しい問題もあって、新たな住民と長く住んでいる人とのつながりをどう作っていくのかというのを、今、私たちは努力して考えています。

上野谷 新参者の気持ちが変わるといえるのは大事なことです。佐和 そうですね、初めてその地域に入っていく人のきっかけを作っていくことが大事だと思います。

誘いの一言が救いの一言に

上野谷 続いて徳谷さんのボランティア活動の芽生えについてお話をいただけますか？

徳谷 子ども会が初めてのボランティア活動です。教育大学に通っていた頃も、先生になることだけを考えていました。主人は油揚げ屋の長男で、結婚して、すぐに子どもが3人生まれましたが、



たくたに あきこ
徳谷 章子さん
大阪市ボランティア活動振興基金作業部会委員/
特別非営利活動法人ハートフレンド代表

夜中の午前1時ごろから工場へ行って油揚げを家族みんなで揚げてるんですよ。当然、長男の嫁やから手伝わなあかんし。私は教師を続けたかったけど、自分の子どもの世話も十分できなくて。だからたった3年で教師を辞めました。それで3人の子育てに奔走するんですけど、根は真面目で、前しか見えない性格をしてるの。一生懸命になり過ぎて、朝昼晩と子どもの体温は測って育児記録をつくるようになったんです。そしたら、無我夢中になって、それに一喜一憂して……。

上野谷 まさに嫁として、母としての責任を一手に背負う状況だったんですね。

徳谷 だからすごく育児が不安で。子育てって大学でもどこでも教えてもらわなかった。誰かに教えてほしかったけど「教えて」つ

てよう言わなかったんです。それで長男が小学校1年になった年に育児不安から、突然うつ病で倒れました。ご飯のつくり方が思い出せない、家事が一切できない。私の母と妹が泊まり込んで子どもの世話をしてくれました。そのうちに3人の子どもたちが不安になってる姿を見て、初めて自分分は病氣なんや、この病氣治したいって思いました。

上野谷 そういう状況からどのように脱出されたの？

徳谷 やっと外へ出れるようになったときに、長男のお友だちのお母さんに会って「徳谷さん元気になってよかったね、私ら子ども会の活動してるんだけど、人が足れへんから一緒にせえへんか」って。嫁に来て初めて一緒に何かしようって声をかけてもらったんです。嬉しかったです。友だちができるかなって、私も必要とされることがあるかなって。教師も辞めた、お母ちゃんもダメになった、何もなくなりました。そんな私でも何か一緒にしないかって、私にはその誘いの一言が救いの一言になったんです。

上野谷 ご家族はどう言っておられましたか？

徳谷 主人は大反対しました。

でも、無理しないからってお願いして、工場を手伝いながら子ども会に入って。一人じゃないんやって、私も必要とされるかもしれないって、自分がやれる何かがあるという喜びがすごくありました。一緒にしないかって誘ってくれた人には本当に感謝しています。私は人のためじゃなく自分のためにボランティア活動を始めました。

上野谷 誘うということがいかに大事か。

徳谷 だから、今、おせっかいかもしれないけど、誘ってみようと思掛けています。子どもにもお母ちゃんにも声かけて。それは自分が、その声で救われたからやと思うからです。

ものづくりボランティア

上野谷 それでは、お待たせしました中北さんお願いします。

中北 僕は、会社に入ったら残業ばかりで、少なくとも20代まではボランティアをやる余裕がなかったんですよ。30歳のときに独立して少し自由になって、精神科病院の設計をしたことがあったんですよ。その院長が、精神科を退院した人は長年の病院生活で体が弱くなっている、自宅の住環境が合わずまた病院に戻って

くる人もいる。患者さんや家族からの住宅改修の窓口を病院でつくるから、ニーズが来たら対応してほしいと頼まれてまして。そんなんでできるかなと思いつながら、まあやりますわ言うてたんです。ところが、待てど暮らせど全然そのニーズが出てこない。患者さんはもちろん、家族からも病院に相談するということがなかなかスムーズにいかなかったんですね。

その頃、新聞に、「福祉機器・住宅研究会」というボランティアの会が発足したという小さな記事があったので、これに行ってみようかなと思って行ったら、なかなかおもしろい活動で、どっぷりはまってしまったというわけです。

上野谷 25年ほど前の話ですね。
中北 会が発足したのは平成5年の7月です。私が会に入ったの



なか きた きよし 清さん
特別非営利活動法人ふくつてく理事・事務局長



和やかな雰囲気の中、座談会が進みます

は同年の10月なんです。大阪市ボランティアセンターが主催した交流会の中で、例えば車いすを押すとか、いわゆるソフトの支援とは違って、福祉用具であるとか、住環境を整備するとかいう、ものづくりのボランティアがあってもいいんじゃないかというところで、メンバーが集まったと聞いています。活動が始まると福祉用具よりも住宅改修のニーズが大変多くて、当時はまだ介護保険はなく、大工さんとか設計士さんで高齢者や障がい者の住環境を整備するという発想があま

りなかったんですね。ですから、時代の流れに乗ったというか、かなり話題にもなっていて、NPOアワードのグランプリをもらったり、福祉事業団の賞をもらったりしました。その中で間もなく阪神・淡路大震災が発生し…。

石田 あの時本当にお世話になりました。

中北 石田さんが急に突然飛び込んでこられて、障がい者の住める仮設住宅を作ってほしいと。

石田 懐かしいです。

中北 それがきっかけと言えぱきつかけなんですけども、それ以来ずっと続けてこれたのは、いい仲間にもめぐり会えたということかなと、今にして思っています。

上野谷 ものづくり、それもやや専門的な人たちの集まりとしてのものづくりが始まったという意味では日本のプロボノの走りなんです。それ個人でなくて、集団をつくって学習会を続けながら、機関紙も発行して。全国的に見ても先駆的な取り組みでした。



おくぼっくん

ボランティア活動総合補償制度のご案内

(引受保険会社:三井住友海上火災保険株式会社)

大阪市ボランティア・市民活動センターと、
各区ボランティア・市民活動センター／ボランティアビューローでご加入いただけます。

ボランティア活動保険(団体単位で加入)				ボランティア・市民活動行事保険(行事単位で加入)				
補償概要		ボランティアがボランティア活動中に、 ①偶然な事故によってケガをした場合の「傷害保険」、②第三者の身体や財物に損害を与えた場合の「賠償責任保険」		補償概要		ボランティア団体や各種の市民団体が主催する行事の参加中に、①参加者が偶然な事故によってケガをした場合の「傷害保険」、②主催者が第三者の身体や財物に損害を与えた場合の「賠償責任保険」の2つの制度がセットされています。		
加入対象		無償活動であること(交通費実費等は除く) 活動のための会議や往復途上も含む 自助活動は補償対象外		加入対象		ボランティア団体や市民団体が主催する行事(スポーツ団体や自助団体も含む) ※氏名・住所・電話番号を記入した名簿の備え付けが必要です。		
保険期間		毎年4月1日から翌年3月31日まで (中途加入は受付日の翌日から)		保険期間		行事期間中 (開催日前日までに受付が必要)		
補償内容		Aプラン	Bプラン	Cプラン (天災担保)	補償内容		I型(宿泊なし)	II型(宿泊あり)
傷害 保険 部分	死亡保険金	死亡・ 後遺障害 保険金額 1,420万円	死亡・ 後遺障害 保険金額 2,090万円	死亡・ 後遺障害 保険金額 1,660万円	傷害 保険 部分	死亡保険金	500万円	400万円
	後遺障害 保険金					後遺障害 保険金	20~500万円	16~400万円
	入院 保険金	6,500円 (日額)	11,000円 (日額)	6,500円 (日額)		入院保険金	3,000円(日額)	
	手術 保険金	入院保険金日額に手術の 種類に応じた倍率を乗じた額				手術 保険金	入院保険金日額に手術の 種類に応じた倍率を乗じた額	
	通院 保険金	2,500円 (日額)	5,000円 (日額)	3,000円 (日額)		通院保険金	2,000円(日額)	
賠償 部分 責任	対人 対物 共通	1事故につき5億円(限度額) 免責金額なし		賠償 部分 責任	対人	1人あたり 最高1億円 1事故あたり 最高2億円		
					対物	1事故あたり 最高500万円		
年間保険料 (1人)	300円	500円	600円	保険料 (1人)	I型	II型		
					A区分	30円	1泊2日 227円	4泊5日 340円
					B区分	134円	2泊3日 279円	5泊6日 348円
					C区分	262円	3泊4日 287円	6泊7日 356円

※このほか、非営利・有償活動団体保険、移送中事故傷害保険もあります。

●お問合せ先

制度運営

大阪市ボランティア・市民活動センター

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター1F

TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618

取扱代理店

各種損害保険・生命保険取扱 島本保険事務所

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4-1-3 大阪センタービル2階(伊藤忠ビル)

TEL.06-6252-4520 FAX.06-6245-4686

ボランティア説明会開催
～春からボランティアをはじめてみませんか～

社会福祉法人 大阪ボランティア協会
http://www.osakavol.org/

これから、はじめてボランティア活動をしようという人を対象にした基本的なオリエンテーションです。「ボランティアってなに?」「どうやって活動始めるの?」などの、素朴な質問にお答えします。お気軽にご参加ください。

日 程 3/28(水)、4/12(木)、4/18(水) 午後7時～8時30分
4/7(土) 午前10時～正午

場 所 大阪ボランティア協会 市民活動スクエア「CANVAS谷町」
(中央区谷町2-2-20 大手前類第一ビル2階)

人数・条件 ■定員:各回10人程度 どなたでも

申込方法 申込専用フォームにて
⇒ http://www.osakavol.org/01/seminar/haji_vol_form.html

お問合せ先▶ TEL/06-6809-4901 FAX/06-6809-4902
Eメール office@osakavol.org (担当:小林・椋木)

ともに燃えよう!フリマ!つながり&資金!

ka・ta・ri (カタリ)

子どもの居場所を始めました。出会いと資金、両方を求めてフリーマーケットに出店します! ワクワク文化祭みたいに一緒に売ろう!

日 程 4/1(日) 午前10時～午後4時

場 所 スーパーサンコー加美店(平野区加美南1-2-27)前に集合

人数・条件 ■どなたでも 交通費支給(上限1,000円まで)
※昼食は買っていただくか、ご持参をお願いします

申込方法 電話・FAX・Eメールにて

お問合せ先▶ TEL/080-3843-1383 FAX/06-6794-3107
Eメール nanagatsukara@softbank.ne.jp (担当:田淵)

中之島まつりでお手伝い

特定非営利活動法人 まつさく

http://matsusaku-group.com/np0.html

中之島まつりに出店します。衣類や日常雑貨、骨とう品やスーパーボールにヨーヨーなど、いろいろなお店のお手伝いボランティアを募集します。

日 程 5/3(木・祝)、5/4(金・祝)、5/5(土・祝) 午前8時～午後5時
※ご参加いただく日時についてはご相談ください

場 所 大阪市中央公会堂(北区中之島1-1-27)正面通り付近

人数・条件 ■定員:30人まで 興味ある人ならどなたでも 昼食支給
交通費支給(一律500円)

申込方法 電話・FAX・Eメールにて

お問合せ先▶ TEL/06-6791-2212 FAX/06-6791-7993
Eメール matsusaku_group@ta3.so-net.ne.jp (担当:村上)

絵本の読み聞かせボランティア募集

ナナナランド/なのの絵本

http://ameblo.jp/tss7nana-7/

私たち「ナナナランド/なのの絵本」では、一緒に絵本の読み聞かせや、イベント、ワークショップ等をしてくださるメンバーを募集しています。明るく自由なグループですので、一度お気軽にご連絡ください!

内 容 読み聞かせは基本、第3土曜日 午後1時30分～2時
(大阪市内の寺院や神社、会館等にて開催しています)
※その他の日程でも活動していますのでお問合せください

人数・条件 ■活動に興味のある人ならどなたでも

申込方法 Eメールにて

お問合せ先▶ Eメール tss7rose@gmail.com (担当:廣瀬)

ボランティア募集、イベント・セミナー情報いっぱい!

情報マーケット

Information Market

「参加してみたい!」と思ったり、
内容について聞いてみたいことがあれば、
各団体まで直接「コンボを見て」とお問い合わせください。



第13回「どっぶり、昭和町。」に参加してみませんか?
～わいわいミーティング(事前説明会&交流会)開催～

どっぶり昭和町実行委員会

https://blog.showacho.jp

4月29日は昭和の日!このまちを思いっきり盛り上げる地域イベントを開催します。このイベントと一緒につくり上げるボランティアを募集します。まずは事前説明会&交流会にご参加ください。

(ボランティア内容) 事前準備(広報作業や会場設営作業)からはじまり、イベント当日は、パンフレットの配布や、来場者の案内・誘導、写真や動画の撮影など

日 程 3/23(金)午後2時～9時 または 4/14(土)午後2時～4時
※どちらかの日程にご参加ください

場 所 阿倍野区昭和町周辺を予定しています

人数・条件 ■地域活動・イベントが好きなお人、阿倍野区や昭和町が好きなお若男女、親子やお友だち、グループでの参加も大歓迎!

申込方法 電話・FAX・Eメールにて

お問合せ先▶ TEL/06-6624-1127 FAX/06-6624-0027
Eメール info@showacho.jp

**「2018年度 アサヒキャンプリーダー(66期生)」
新規応募説明会 開催**

特定非営利活動法人 アサヒキャンプ

http://www.asahi-camp.com/

学生が主体となり、子どもたちの野外活動(キャンプ)の計画、実施、運営を行っています。「ボランティア」「子ども」「障がい児」「教育」に関心・興味のある人、なにか新しいことをしてみたい人など、まずは気軽に説明会にご参加ください!

日 程 ①4/14(土)午後2時～5時 ②5/13(日)午後1時30分～3時30分、
③5/19(土)午後1時30分～3時30分
※②、③の説明会后、体験キャンプガイダンス有り(1時間程度)

場 所 アサヒキャンプ事務局(中央区淡路町4-4-13 南星ビル9階 902)

人数・条件 ■短大・4年制大学・専門学校(学生 20人程度 月1回程度の勉強会やキャンプ活動など2年以上できる人※キャンプ体験は問わず)

申込方法 HPの応募フォーム・Eメールにて
※住所・氏名・電話番号・メールアドレス・学校名・学年・参加希望日をお知らせください
ご都合の悪い場合は、個別対応します

お問合せ先▶ TEL/050-5539-6058
Eメール office@asahi-camp.com

第25回 共生・共走リレーマラソン ボランティア募集

共生・共走リレーマラソン実行委員会

http://www.kyousei-marathon.com

障がいのある人もない人も、共に生きる「共生の社会」の実現を目的に、「第25回 共生・共走マラソン」が開催されます。

(内容) コース整備や出店・フリマ手伝い、本部や福祉展のお手伝い、事前準備や後片付けなど

日 程 5/23(水)～5/25(金) 午前9時～午後5時(事前準備)
5/26(土) 午前9時～午後5時(会場設営)
5/27(日) 午前8時～午後5時(当日運営)
5/28(月)、5/29(火) 午前8時～午後5時(後片付け)
※ご参加いただく日時についてはご相談ください

場 所 花博記念公園 鶴見緑地(鶴見区緑地公園2-163)
※事前準備・後片付けはNPO法人まつさく(平野区加美北8-1-46)にて

人数・条件 ■興味のある人ならどなたでも 交通費支給(一律500円) 昼食支給

申込方法 電話・FAX・Eメールにて

お問合せ先▶ TEL/06-6791-2212 FAX/06-6791-7993
Eメール taikai@kyousei-marathon.com (担当:村上)



◀誰でも、安全・簡単にセーリングできます。

Voice

ここでは、過去に「情報マーケット」で掲載した団体の声をご紹介します！



団体名 **一般財団法人 セーラビリティ大阪**
<http://www.sailabilityosaka.jp>

貴団体の活動内容について教えてください。

ユニバーサルデザインの艇(アクセスティンギー)を使い、老若男女はもちろん、心身に障がいのある人も、垣根なくセーリングの楽しさ、海の素晴らしさを感じてもらおうと活動しています。

「情報マーケット」に掲載された後、みなさんからの反響は如何でしたか？

数名からのお問い合わせがあり、このような活動があるということを知ってもらおう良い機会となっています。今も継続でおひとり、お手伝いいただいております。

ボランティアが参加したことでよかったことを教えてください。

参加してくれることで、ヨット教室やイベント等が盛り上がり、安全面の確保ができたりと、とても助かっています。参加されたボランティアさんにも、ヨットや海に親しんでもらっています。

レンタルヨット活動のお手伝いボランティア募集!

土日祝 継 初

障がい者でも簡単に操縦できるよう開発された艇(アクセスティンギー)を使い、全ての人にセーリングを楽しんでもらおうと活動しているグループです。貸し出しや、セーリング体験のお手伝いをしていただけるボランティアを募集しています。

日 程 土・日・祝日 午前9時30分～午後4時頃
 (活動期間は4月～11月末まで)

場 所 大阪北港マリーナ(此花区常吉2-13-18)
※「大阪駅前」停留所より「59系統 北港ヨットハーバー」行きに乗車(約50分)または、「西九条」停留所より「59系統 北港ヨットハーバー」行きに乗車(約25分) 下車徒歩5分

人数・条件 ■ 楽しみながら活動できる人 活動時間についてはご相談ください
 土曜日参加できる人大歓迎!
※レンタルの予約が無い時はヨットに乗艇できません 保険は当方で加入します

申込方法 電話・FAX・Eメールにて ※ボランティア募集の件 とお伝えください

お問合せ先 ▶ TEL/090-3166-8993 FAX/06-6583-2889
 Eメール fujimoto@kiboujuku.com (担当:藤本)

不登校児・発達障がい児のサポート ～楽しい!おもしろい!を一緒につくろう～

NPO法人 **ところ(フリースペースAlive)** 平日 土日祝
<https://npo-tokoro1001.jimdo.com/> 継 初

フリースペースAliveは「不登校」や「ひきこもり」など、学校や社会から離れ、自分の居場所を見つけられず悩んでいる子どもや若者のためのスペースです。彼らと一緒に楽しい!おもしろい!を経験してみませんか?
(内容)小・中学生の宿題や学習サポート、一緒に遊ぶ、制作活動のサポート等

日 程 火・木・土曜日 午前11時～午後3時

場 所 フリースペースAlive(平野区長吉長原東1-3 長吉長原北住宅11号棟105号室)

人数・条件 ■ 2,3人程度 当法人の活動にご理解のある人 年齢・性別不問
 子どもと関わりたい、サポートしたいという思いのある人
※学力や指導経験は問いません

申込方法 電話・Eメールにて

お問合せ先 ▶ TEL/06-7892-6439
 Eメール tokoro.office@gmail.com (担当:齊藤)

2018年度『ボランティア説明会』のご案内

大阪YMCA国際専門学校 土日祝
<https://www.osk-ymca-intl.ed.jp/> 単 初

生徒のケアや学習のサポートをしてくださるボランティアの説明会を開催します。
(表現・コミュニケーション学科):「ボランティア会」
 (J-IVY)新旧のボランティアが集まり、新年度に向けてのオリエンテーションや交流を予定
 (サポートクラス):「サポートクラスでの援助の仕方」

日 程 4/28(土) 午後1時～4時

場 所 大阪YMCA国際専門学校 4階(西区土佐堀1-5-6)

人数・条件 ■ 18歳以上 ボランティアとして活動をする意思のある人

申込方法 電話・Eメールにて

お問合せ先▶

表現・コミュニケーション学科:TEL/06-6441-1123 Eメール hyogen-com@osakaymca.org
 J-IVY:TEL/06-6459-1771 Eメール j-ivy@osakaymca.org
 サポートクラス:TEL/06-6441-5070 Eメール supportclass@osakaymca.org

ファインプラザ大阪でボランティア(登録制)をはじめませんか? ～ボランティアガイダンスのご案内～

大阪府立障がい者交流促進センター 土日祝
 (ファインプラザ大阪) 継 初
<http://www.fineplaza.jp/>

ファインプラザ大阪は障がいのある人の自立と、社会参加の促進、人々との交流を図るふれあいの場です。障がい者スポーツの練習会・大会・教室での補助(運営・指導)や交流イベントの運営補助など、事業を支援していただけるボランティアを募集しています。まずは、ボランティア登録の説明会にご参加ください!

日 程 4/1(日)、5/6(日)、6/3(日) 午前10時～11時 ※毎月1回、基本第1日曜日に開催

場 所 大阪府立障がい者交流促進センター(ファインプラザ大阪)
(〒590-0137 堺市南区城山台5-1-2)

人数・条件 ■ 15歳(高校生)以上の人

申込方法 HPより所定の申込書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ持参・郵送・FAXにて ※参加決定通知はいたしません

お問合せ先 ▶ TEL/072-296-6311 FAX/072-296-6313

生きづらさを感じている人の居場所を一緒に作りませんか?

くつろぎステーションつばさ 土日祝
<http://kutsurogitsubasa.web.fc2.com/> 単 継 初

コミュニケーションが苦手な主に20～30代の人や、活動内容に興味を持った人が、私たちメンバーと一緒に定期的な居場所づくりの場に参加しながら、社会参加へのきっかけを見出していくような活動をしています。興味のある人はリラックスしてお越しください!

日 程 土曜日(月2回程度) 午後2時30分～5時

場 所 大阪府ボランティア・市民活動センター(天王寺区東高津町12-10)または、市民活動スクエア「CANVAS谷町」(中央区谷町2-2-20 2階)

人数・条件 ■ 20～30代のコミュニケーションが苦手な人、社会人や学生、つばさの活動に興味を持った人、議論討論せずにノビリと参加できる人
 参加費:500円(協力金として)

申込方法 Eメールにて

※住所・氏名・年齢・メールアドレス・職業or学校名(任意)・簡単な自己プロフィールをお知らせください(活動日3日前までにご連絡ください)

お問合せ先 ▶ Eメール tsubasa_piyopiyo@hotmail.com (担当:江頭)

作業場@旧今宮小学校

Breaker Project 事務局

<http://breakerproject.net>

旧今宮小学校にて発見された陶芸窯を中心として、美術家・きむらとしろう じんじんらとともに、地域に開かれた「作業場」をつくる実験を継続して展開しています。

日 程 3/24(土)、3/25(日)、3/31(土) 午後1時～4時30分
※途中参加・退出もOK 雨天決行(荒天時は中止する場合があります)

場 所 旧今宮小学校(西成区天下茶屋1-16-5)

人数・条件 ■参加費:無料 どなたでもご参加ください

申込方法 Eメールにて

お問合せ先▶ TEL/070-5046-8667
 Eメール info@breakerproject.net

ユニセフ・チャリティウォーク2018

大阪ユニセフ協会

<http://www.unicef-osaka.jp/>

春の美しい花々を眺めながら一緒に鶴見緑地を歩きますか?参加賞のほか抽選会もあります。参加費の一部は厳しい状況におかれている世界の子どもたちへの支援につながります。

日 程 4/7(土) 午前10時～正午

場 所 花博記念公園 鶴見緑地(鶴見区緑地公園2-163)

人数・条件 ■参加費:一般・大学生:500円 中高生:200円 小学生以下:無料
※参加費の一部がユニセフ(国連児童基金)に送られます

申込方法 電話・FAX・Eメールにて ※事前申し込みが原則ですが、当日参加も可能です

お問合せ先▶ TEL/06-6645-5123 FAX/06-6645-5124
 Eメール un@unicef-osaka.jp (担当:竹内)
※受付:火～土曜日(午前11時～午後4時)

森林ボランティアリーダー養成講座 森林大学 第34期生 募集

NPO法人 日本森林ボランティア協会

<http://www.npomori.jp/>

もっと森林のことを知りたい、もっと森林で遊びたい。そして、皆で森林を守りたい… そんな人のための市民大学。

日 程 4/11(水)～10/3(水) 全19回
 講座:水曜日 午後6時45分～8時30分
 野外実習:土・日曜日

場 所 講座:大阪YMCA会館(西区土佐堀1-5-6)
 野外実習:大阪府下の森林など

人数・条件 ■定員:30人 18歳以上の男女 受講料:35,000円
※野外学習の交通費・宿泊費は別途必要 最小催行人数10人

申込方法 TEL・FAX・Eメールにて 締切:4/9(月)※定員になり次第締め切ります

お問合せ先▶ TEL・FAX/06-6376-8255 Eメール mori@npomori.jp

2018年度『発達障がい理解講座』のご案内

大阪YMCA国際専門学校

<https://www.osk-ymca-intl.ed.jp/>

ボランティア育成の一環として、子どもたちの特性の基本理解や具体的な援助の仕方、ボランティアとして必要なことについて学ぶ講座を行います。

【LDおよびその周辺の子どもの基本理解】
 講師:竹田契一氏(大阪教育大学名誉教授、大阪医科大学LDセンター顧問)

日 程 4/28(土) 午前10時～正午(受付:9時30分より)

場 所 大阪YMCA国際専門学校 4階(西区土佐堀1-5-6)

人数・条件 ■18歳以上 受講料:無料

申込方法 電話・Eメールにて

お問合せ先▶ TEL/06-6441-5070
 Eメール supportclass@osakaymca.org

『平野みんな食堂学び隊』参加者募集

平野みんな食堂ネットワーク

<http://campwith.jp/hirano/>

『みんな食堂』について学び、みんなの力で平野区を盛り上げよう!!これからの社会を担っていく若い力、目線、声を取り入れながら、共に活動しましょう!

活動内容:①子どもたちと寄り添いながらコミュニケーションを楽しむ

②活動を通して 子どものニーズや課題について学ぶ

③成果をもとに事業企画・運営にあたる

④みんな食堂・子どもの居場所への参加

※スケジュール等の詳細についてはお問合せください

場 所 平野区内にある子ども食堂

人数・条件 ■高校生・大学生 ※平野区外にお住まいの人も大歓迎!

申込方法 電話・FAX・Eメールにて

お問合せ先▶ TEL・FAX/06-6648-8384
 Eメール minna@campwith.jp

～閃き塾プレセミナーvol.3～ 『オープンソース!陸奥さんと考える閃くことと開くこと』

閃き塾実行委員会

<https://www.facebook.com/Hiramekijuku2018/>

まわし読み新聞、直観読みブックマーカー、歌垣風呂など、いろんなコンテンツを生み出す鬼才、陸奥賢さんを迎えて開催します!陸奥さんの生み出す魅力的なコンテンツはオープンソースとして多くの人たちに楽しんでいます。オープンソースを実感してみませんか?

日 程 3/31(土) 午後3時～5時(開場:午後2時30分)

場 所 浪速高津宮(中央区高津1-1-29)

人数・条件 ■定員:30人 参加費:1,000円 持ち物:お手持ちの本(ジャンル問わず 3冊以上 寄付の必要はなし) 終了後、懇親会有り(会費:1,000円)

申込方法 Eメールにて ※氏名・連絡先・懇親会参加の有無を明記ください

お問合せ先▶ Eメール hiramekijuku2018@gmail.com

『介護オンブズマン養成講座』参加者募集

介護保険市民オンブズマン機構大阪

<http://o-net.sakura.ne.jp/>

【告発型ではなく橋渡し役】を基本に、高齢者施設で活動する介護オンブズマンを育てます。施設介護の考え方や動向、対話方法などを学びます。あなたも活動しながら「施設を見る目」を養っていきましょう。

日 程 基礎講座:4/10(火)、4/17(火)、4/24(火) 午後1時15分～4時45分

体験実習:5/1(火)～5/28(月) ※日時・場所は選択

演習:5/29(火) 午前10時30分～午後5時

場 所 介護保険市民オンブズマン機構大阪(東成区中道3-2-34 JAM大阪2F)

人数・条件 ■定員30人(申込先着順) どなたでも 受講料:20,000円
※受講日についてはご相談にも応じます

申込方法 電話・FAXにて ※HPより申込書をダウンロードできます

お問合せ先▶ TEL/06-6975-5221 FAX/06-6975-5223
 (担当:堀川)

『音訳ボランティア養成講習会(1)』のご案内

社会福祉法人 日本ライトハウス情報文化センター

<http://www.lighthouse.or.jp/>

音訳ボランティアを志す人を対象に、発声、発音、アクセントなどの基礎練習を中心とした講習会を開催します。

※修了後は「音訳ボランティア養成講習会(2)」に進んでいただくことができます。(マウステストあり)

日 程 【火曜日コース】4/17～8/7の毎週火曜日(7/3、7/31は除く)

午後1時～2時50分 全15回

【水曜日コース】4/18～8/8の毎週水曜日(7/4、8/1は除く)

午後1時～2時50分 全15回

場 所 日本ライトハウス情報文化センター 4階会議室(西区江戸堀1-13-2)

人数・条件 ■定員:各コース 15人(申込先着順) 受講料:7,000円

申込方法 郵送・来所にて 締切:4/6(金)
※HPより申込用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、郵送またはご持参ください FAX・Eメールでも可

お問合せ先▶ TEL/06-6441-1017 FAX/06-6441-1027
 Eメール rec@iccb.jp

2018年度(第16回)ドコモ 市民活動団体助成事業

「第17回 子育てボランティア養成講座」参加者募集

NPO法人 モバイル・コミュニケーション・ファンド
<http://www.mcfund.or.jp>

それぞれの地域で、将来の社会の担い手である子どもたちの健やかな育ちを応援する活動に取り組んでいる皆様からの積極的な応募をお待ちしています。応募条件等の詳細はHPをご覧ください。(助成総額:3,500万円(上限))

対象活動 (子どもの健全な育成を支援する活動) 上限額70万円(1団体あたり)
 ①不登校・ひきこもり ②児童虐待やDV、性暴力 など
 ③非行や犯罪から子どもを守り、立ち直りを支援 ④子どもの居場所づくり
 ⑤障がいのある子どもや難病の子どもを支援
 ⑥マイノリティ(外国にルーツを持つ、LGBT等)を支援
 ⑦地震・台風などの自然災害で被災した子どもを支援 など
(経済的困難を抱える子どもを支援する活動) 上限額100万円(1団体あたり)
 ①学習支援 ②生活支援 ③就労支援 など

申請方法 HPからダウンロードした申請書(Excel)に必要事項を記入・押印のうえ、簡易書留、宅配便等で送付のこと 締切:3/31(土)必着

お問合せ先▶ TEL/03-3509-7651 Eメール info@mcfund.or.jp

阿倍野区子育て支援連絡会 平日 継続 初心者OK

子どもも地域も一緒に育とう!ご近所応援団!チョットした手助けが求められています。見守り・声掛けから始まる「子育てボランティア」をしてみませんか?

日 程 5/22~6/26の毎週火曜日 午前10時~正午(うち1回は午前9時30分開始)
 ※全6回講座の他に実習(平日)があります

場 所 阿倍野区内 ※毎回 会場が異なりますのでご確認ください

人数・条件 ■定員:20人(多数抽選) 受講料:1,000円(資料代・保険代含む)
 対象:阿倍野区の子育てに関するボランティア活動に興味のある人
 ※一時保育有り(先着5人 要申込み お子様の氏名・年齢・性別もお知らせください)

申込方法 FAX・ハガキ または電話にて 締切:4/23(月)必着
 ※講座名・住所・氏名・電話番号・年齢・応募動機をお知らせください

お問合せ先▶ あへのボランティア活動センター(阿倍野区社会福祉協議会内)
 TEL/06-6628-3434 FAX/06-6628-9393

子ども思いの森「生きるちからファンド2018」

第30回 地域福祉を支援する「わかば基金」

池田屋 子ども思いの森事業部
<http://kodomoomoinomori.jp/>

地域に根ざしてアクティブに、クリエイティブに、子どもたちの生きるちから(考えるちから、伝えるちから、繋がるちから)を育む市民活動団体(NPO)や個人の活動を支援するために設立した公募型の基金です。

助成対象 子どもたちを対象に私たちが考える生きるちから(考えるちから、伝えるちから、繋がるちから)を育む活動を続けている市民活動団体(NPO)及び個人

助成金額 1事業に対して上限30万円以下(単年度補助)
 ※補助対象経費の合計額から他の収入を控除した自己負担額の1/2以内で 予算及び申し込み状況を勘案して当ファンドが定める額
 ※代表者が学生の場合、1事業に対して10万円以下

申請方法 HPより申請書をダウンロードし 必要事項を記入の上 郵送のこと
 締切:4/20(金)書類必着 ※詳細についてはHPをご参照ください

お問合せ先▶ TEL/054-266-3790(月~土曜日 午前9時~午後6時)
 Eメール info@kodomoomoinomori.jp (担当:寺本・柏木)

社会福祉法人 NHK厚生文化事業団
<http://www.npwo.or.jp>

『わかば基金』は、地域に根ざした福祉活動を展開しているグループが、活動の幅を広げるための支援をしています。詳細についてはHPをご確認ください。

支援内容 ①**支援金部門**:1グループにつき、最高100万円(10グループほどを予定)
 対象:国内のある一定地域に福祉活動拠点を設け、より活動を広げたいグループ
 ②**リサイクルパソコン部門**:総数50台程度(1グループにつき3台まで)
 対象:すでに福祉活動(高齢者・障がい者)に取り組み、台数を増やすことで、より活動の充実を図れるグループ
 ③**東日本大震災復興支援部門**:1グループにつき、最高100万円(5グループほどを予定)
 対象:東日本大震災の被災地に活動拠点が有り、そこで福祉活動をすすめているグループ、または、被災地に新たな福祉事業を展開したい、と考えているグループ

申請方法 申請書に必要事項を記入し、その他 提出書類を添付して郵送のこと
 (申請書はHPよりダウンロードできます) ※締切:3/30(金)必着

お問合せ先▶ TEL/03-3476-5955 FAX/03-3476-5956
 Eメール info@npwo.or.jp

第35回「老後を豊かにするボランティア活動資金助成事業」

2018年度 配食サービス車「毎日ふれあい号」贈呈先募集

公益財団法人 みずほ教育福祉財団 福祉事業部
<http://www.mizuho-ewf.or.jp/>

本助成事業は、高齢者を主な対象として活動するボランティアグループおよび、地域環境の改善につながる活動を行っている高齢者中心のボランティアグループに対し、活動において継続的に使用する用具・機器類の取得資金を助成します。
 ※申請には都道府県・指定都市または市区町村の社会福祉協議会の推薦が必要

対象活動 ①高齢者を対象とした生活支援サービス
 ②高齢者による、地域共生社会の実現につながる活動
 ③高齢者と他世代との交流を図る活動
 ④レクリエーションを通じて高齢者の生活を豊かにする活動

助成金額 1グループにつき10万円を上限に選考により金額決定
 ※計120グループ程度を予定

申請方法 HPより申請書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ 郵送のこと
 締切:5/25(金)必着 ※団体要件等の詳細についてはHPをご参照ください

お問合せ先▶ TEL/03-3596-4532 FAX/03-3596-3574
 Eメール FJP36105@nifty.com

公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団
http://www.mainichi.co.jp/osaka_shakaijigyo/

配食サービス車「毎日ふれあい号」1台を贈呈します。デヘロ社製、軽ワゴンの特別仕様車(ベース車両はダイハツハイゼットカーゴ660cc)で32食の積載が可能です。

助成対象 地域で高齢者や障がい者らを対象にした配食サービスを行っているボランティア団体、民間団体、施設など
 ※対象地域:北陸、中部、近畿、四国、中国地方(山口県を除く)

申請方法 希望理由や配食サービス事業の概要や事業実績、収支報告書(会計報告)や、事業計画、予算書、団体の概要などの書類をつけて下記住所宛に郵送のこと
 締切:5/11(金)必着 詳細はHPをご覧ください

お問合せ先▶ TEL/06-6346-1180 FAX/06-6346-8681



ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしております。どしどしお寄せください。



申し込み方法 専用フォームから情報をお寄せください。
<https://ws.formzu.net/sfgen/S53168917/>

情報求む!

申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室

天王寺区東高津町12-10 TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618 Eメール occv@osakacity-vnet.or.jp (担当:濱田・荒野・縄)

※本誌の発行日は8月と1月を除く毎月15日です。募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします。
 (例:平成30年5月15日発行号(6月号)に掲載希望の場合は3月末日まで)

おことわり

※受付・掲載有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み=掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。

アンケートにご協力ください!

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見やご感想をお聞かせください。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。
 - あなたのボランティア活動歴を教えてください。
ア なし イ 1年未満 ウ 1～4年 エ 5～9年 オ 10年以上
 - あると答えた人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
 - これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
ア ある イ なし ウ まだ迷っている(その理由も教えてください)
 - 今月号で良かった記事は何ページですか?その理由も教えてください。
 - 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
 - その他、ご意見、ご感想を記入ください。
- ③①、②の必要事項をFAXかハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。
※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>



(宛先)
大阪市ボランティア・市民活動センター
「読者アンケート 情報誌COMVO225号係」まで
(住所は下記参照)

※締め切り 2018年4月10日(消印有効)
※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。
※お預かりした個人情報、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。

大阪シティ信用金庫
社会貢献活動ピックアップ

大阪4オケプロジェクト “Concert 4-2” に協賛

大阪を拠点とする4つのプロオーケストラ(大阪4オケ)の共同プロジェクト “Concert 4-2” に協賛します。

このプロジェクトは、“Concert for Mother”と題した「母の日」プレゼント用コンサートチケットの販売収益で、音楽に接する機会が少ない児童を本格的なクラシックコンサート “Concert for Children” に招待するもので、4月から実施されます。

当金庫は、毎年9月開催の「大阪クラシック～街にあふれる音楽～」に協力し、本店2階ホールを公演会場に提供しています。この取り組みに加え、本プロジェクトを通じて、子どもたちにクラシック音楽に接する機会を提供することで、健全で豊かな心の育成を支援し、また、地域の皆さまにプロオーケストラの活動への理解を深めていただき、大阪の文化の発展に貢献してまいります。



- “Concert 4-2”
- ◆ “Concert for Mother” 4～5月開催
 - ◆ “Concert for Children” 6～8月開催
 - ◆ 主催 大阪交響楽団
大阪フィルハーモニー交響楽団
関西フィルハーモニー管弦楽団
日本センチュリー交響楽団
 - ◆ 協力 大阪府福祉部、サトウ花店
 - ◆ 協賛 大阪シティ信用金庫

ボランティア・市民活動情報誌
「COMVO」へ広告募集!

赤字が
本文 1/5 ページ
サイズと同じです

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO。
大阪のボランティア・市民活動情報が満載!市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

- 体裁・発行部数
B5判 16頁(フルカラー)年10回発行
- 広告申し込み締切
発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申してください)
- 申込方法
下記まで問合せください



広告料金(税込)

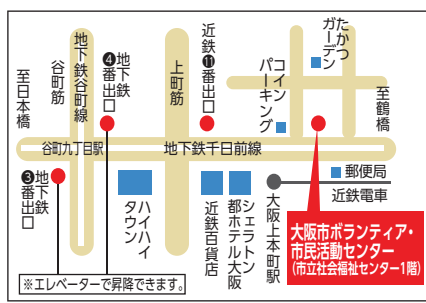
掲載箇所 スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)	
表4 1ページ	234,000円		240×170
表4 1/2ページ	127,500円		117×170
本文 1ページ	156,000円	257×182	240×170
本文 1/2ページ	85,000円		117×170
本文 1/5ページ	38,000円		48×162

※原稿は原寸大の完全原稿(ボジ・MOデータ)で入稿ください。それ以外は別途製版料が必要です。
※掲載ページの指定はできません。
※内容により掲載をお断りする場合があります。

企画・発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
大阪シティ信用金庫
大阪市ボランティア・市民活動センター
Osaka City Voluntary Action Center
所在地/〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F
TEL/ 06-6765-4041 FAX/ 06-6765-5618
E-mail/ocvic@osakacity-vnet.or.jp http://www.osakacity-vnet.or.jp

- 開館時間:午前9時30分～午後8時30分(月・水・金) 午前9時30分～午後5時(火・木・土)
- 休館日:日・祝・国民の休日・年末年始
- 発行日:2018年3月15日(8月と1月を除く毎月15日発行)
- 発行部数:40,000部 ●制作協力:商工印刷株式会社
- 本誌は大阪府共同募金会の助成をいただいています



「COMVO」主な設置・配布場所 ウェブサイトからもチェック可能! <http://comvo.lekumo.biz>

大阪市営地下鉄(新大阪・淀屋橋・本町・なんば・天王寺・なかもず・大日・太子橋今市・天神橋筋六丁目・東梅田・天満橋・谷町九丁目・喜連瓜破・住之江公園・大阪港・堺筋本町・野田阪神・日本橋・天下茶屋・大正・蒲生四丁目・ポートタウン東 各駅)、阪神電車(梅田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区在宅サービスセンター(区社協)、大阪市役所・区役所、区民センター、フレオ大阪、大阪市内の図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商店会総連盟加盟商店街、大阪シティ信用金庫府内の店舗など

●スタッフブログ <http://ocvic.blogspot.jp> ●Twitter <http://twitter.com/ocvic1998> ●Facebookページ <https://www.facebook.com/ocvac>

森と人間、 どちらも元気にする方法が 見つかった。

インドネシア熱帯雨林再生プロジェクト。地元住民が生活のために伐採した森林の再生のためには、まず彼らの暮らしを支える経済貢献が必要でした。また、植林が進んだ後は、再生した森がまた伐採されないよう、地元小学校への啓発と支援も進めました。木を植える。そのシンプルな環境貢献のために一番必要になったのは、地元で暮らす人々との対話でした。森がよみがえり、人に笑顔が戻る。私たちの環境問題への取り組みは「対話」からはじまります。



インドネシアバリヤン第二小学校

対話するエコ。

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上



24区ボランティア・市民活動センター/ボランティアビューロー一覧

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

名称	所在地	電話(06)	FAX(06)
北区ボランティア・市民活動センター	北区神山町15-11	6313-5566	6313-2921
都島区ボランティア・市民活動センター	都島区都島本通3-12-31	6929-9500	6929-9504
福島区ボランティア・市民活動センター	福島区海老江6-2-22	6454-4553	6454-6331
此花区ボランティア・市民活動センター	此花区伝法3-2-27	6462-1224	6462-1984
中央区ボランティア・市民活動センター	中央区上本町西2-5-25	6763-8139	6763-8151
西区ボランティア・市民活動センター	西区新町4-5-14	6539-8075	6539-8073
港区ボランティア・市民活動センター	港区弁天2-15-1	6575-1212	6575-1025
大正区ボランティア・市民活動センター	大正区小林西1-14-3	6555-7575	6555-0687
天王寺区ボランティア・市民活動センター	天王寺区六万休町5-26	6774-3377	6774-3399
浪速区ボランティア・市民活動センター	浪速区難波中3-8-8	6636-6027	6636-6028
西淀川区ボランティア・市民活動センター	西淀川区千舟2-7-7	6478-2941	6478-2945
淀川区ボランティア・市民活動センター	淀川区三国本町2-14-3	6394-2900	6394-2978
東淀川区ボランティア・市民活動センター	東淀川区菅原4-4-37	6370-1630	6370-7330
東成区ボランティア・市民活動センター	東成区大今里南3-11-2	6977-6336	6977-6339
生野区ボランティア・市民活動センター	生野区勝山北3-13-20	6712-3101	6712-3001
旭区ボランティア・市民活動センター	旭区高殿6-16-1	6957-2200	6957-7282
城東区ボランティア・市民活動センター	城東区中央2-11-16	6936-1153	6936-1154
鶴見区ボランティアビューロー	鶴見区諸口5-浜6-12	6913-7070	6913-7676
あべのボランティア活動センター	阿倍野区帝塚山1-3-8	6628-3434	6628-9393
住之江区ボランティアビューロー	住之江区御崎4-6-10	6686-2234	6686-0400
住吉区ボランティア・市民活動センター	住吉区浅香1-8-47	6607-8181	6692-8813
東住吉区ボランティア・市民活動センター	東住吉区田辺2-10-18	6628-2020	6622-8973
平野区ボランティア・市民活動センター	平野区平野東2-1-30	6795-2200	6795-2929
西成区ボランティア・市民活動センター	西成区岸里1-5-20	6656-0080	6656-0083